## 農業者に対しての重要性の再認識を

### 新倉 淳 議員

**市民ホールに石村嘉成ギャラリーを**

**新倉** 石村嘉成さんが「備中たかはし伝えたいし！」を受けてくださったご厚意に応えるためにも、来庁される皆さんの癒しの場として市民ホールの一角を石村嘉成ミニギャラリーにしたら素晴らしいと思うが、市長の考えを問う。

**市長** 良いご提案をいただいたと思う。市民ホールを大勢の方にご利用いただき、いろんな話に花が咲けばと思う。現在はこの前、頂いた「高梁川の大合戦」という作品を展示している。今後、石村さんとの話し合いになるが進めていきたい。また石村さんの活動を紹介する写真パネルなども展示できればとも考えている。

**農業従事者にもっと手厚い施策を**

**新倉** 基幹産業である農業の屋台骨でもある認定農業者、そして農業後継者などの組織に対しての補助を考え直してもらいたいのだが、市長の考えを問う。

**市長** まずは認定農業者協議会の中でも活動に対して議論をして頂きたい。その上での支援を考えていきたい。高梁市の農業を守っていただいている認定農業者の皆様方の活動もこれからも必要であるとの認識は変わっていないので、その都度ご相談なり協議なりさせて頂ければと思っている。

**新倉** 補助金ありきではなく、自主的活動に行政のバックアップが必要と考えている。農業者に寄り添う行政を希望する。

## 高梁の子育て支援体制を問う

### 小林 重樹 議員

**子育て支援対策に向けた取り組みについて**

**小林** 子育て応援パッケージ支援プロジェクトとは切れ目のない支援だと思うがその内容を問う。

**市長** 第3子以降の支援パッケージとして既存の子育て支援に加えて充実させていく。国の支援措置も含め、拡充していく事業として、妊娠出産のときに15万円を20万円に上げていく。また小学校、中学校への入学時に5万円の支給、季節性インフルエンザの予防接種費用も原則無償化などを含めた子育て応援パッケージである。

**小林** 第1子、第2子の子育て支援は今までどおりなのか。

**市長** 第1子、第2子に対する支援内容も拡充していきたい。新年度予算では、中学生までのインフルエンザワクチン支援拡充、おむつ支援にお尻拭きを加えた。必要に応じて対応する。

**高梁認定こども園（仮称）施設の運営について**

**小林** 子育て支援の中核となる施設としての機能を問う。

**市長** こども園の機能に加えて子育て支援センターを併設する。センターが親子や親同士の交流、こども園に通っていない子どもさんも含めた交流の場となり、育児についての悩みも相談ができる場になればと考えている。

## 中山間の農業の在り方を問う

### 川上 修一 議員

**基幹産業である農業について**

**川上** 食料安全保障を視野に25年ぶりに食料・農業・農村基本法の一部を改正する法案が提出され、閣議決定ののち予算委員会においても議論がされている。米価に対する考え方、荒廃が進む農地について、市は今後どのような対策をしていくのか。

**市長** 25年ぶりに基本法が改正されるということで、食料自給率についても農地の確保は大きな課題だと考えている。市としても集団的な農業を求めるため農業機械の共同化とそれに対する補助等も行い、農地の確保と維持に努めていきたい。またジャポニカ米というのは海外でも人気を博してきている。この流れは敏感に捉える必要がある。米の消費は年々落ちてきているので何とか米の消費を拡大し少しでもプラス傾向に持っていかないといけない。高梁市として食す米というものをしっかり調整していくと同時に、農地を活用して野菜や果物も生産していく。

**農地の相続について**

**川上** 相続登記について法改正がなされ令和6年4月1日から実施される。特に農地の相続については複雑で、農業委員会または中間管理機構を通さなければならず、非常に手間と時間がかかる。市の窓口において丁寧な指導を求める。

**市長** 相続登記の法改正については農地に対しての手続きが複雑なので適確な説明指導に努める。

## 森林環境譲与税について

### 倉野 嗣雄 議員

**森林の整備計画について**

**倉野** 令和6年度より、国税として1人年額1000円を市町村が賦課徴収する森林環境税がスタートする。今後の計画と公表の義務がある使途について問う。

**産業経済部長** 令和5年度末までに「森林経営制度」に係る意向調査を終えたところが7エリア、現地調査を終えたところが4エリアである。現地調査を終え、対象となる森林の管理方法を分類している。今後は所有者同意のもと計画を作成し、施業に入っていく。使途については、森林のためになるもの、環境に資するものなど用途の幅が広がってきており、全国的な先行事例も研究しながら進めていきたい。

**移住・定住について**

**倉野** 現在は移住コンシェルジュが1名で活動している、増員の考えはあるのか。

**市長** 1名何とか確保していきたいと考えている。

**行財政改革について**

**倉野** 全員協議会で改革案が示され、5年間で10億円の効果額となっているが、市民にどのように伝えるのか。

**総務部長** 市のホームページへ掲載する。広報紙で概要を示し市民の皆様にプランの概要を知ってもらい、その上で吉備国際大学など周辺の地域資源を活用しながら、広報に努めていく。

**倉野** 行財政改革に取り組む市長の決意を問う。

**市長** 市民の皆さんに理解をいただきながら進めていく。